■特長

この時計は、時刻・カレンダー機能のほかに、以下の機能を備えています。

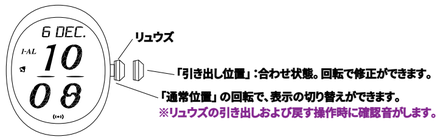
●ワンタイムアラーム機能……設定した時刻に１回だけ鳴るアラームがセットできます。
●デイリーアラーム機能……設定した時刻に毎日鳴るアラームがセットできます。
●時報機能……時報の設定ができます。
●オートカレンダー機能……２月２９日（２９ FEB）を除き月末のカレンダー修正の必要はありません。
●内部照明機能……リュウズを押すと内部照明（パネライト）が点灯します。約３秒間の残照式です。

※パネライトに使用しているエレクトロルミネッセンスの発光体は、発光時間の経過と共に徐々に輝度が減衰する特性を持っています。（詳しくは「■エレクトロルミネッセンスパネル（内部照明）について」を参照）
※パネライト点灯時に音がしますが、これは駆動用の昇圧回路が出す音で異常ではありません。

■製品仕様

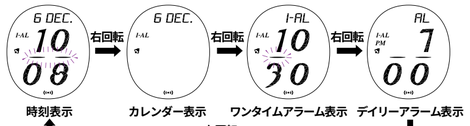
1.水晶振動数……３２，７６８Ｈｚ（Ｈｚ＝１秒間の振動数）
2.精度……平均月差±３０秒（気温５℃～３５℃において腕につけた場合）
3.作動温度範囲……－５℃～＋５０℃　　ただし表示機能は０℃～＋５０℃
4.表示体……ＦＥ（電界効果）型ネマチック液晶
5.使用電池……小型リチウム電池ＳＢ－Ｔ１５：１個
6.電池寿命……約２年
7.内部照明……ＥＬ（エレクトロルミネッセンス）
8.電子回路……発振、分周、駆動、ＥＬ回路（Ｃ－ＭＯＳ－ＩＣ）：１個
※上記の製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

■各部の名称と表示の切り替え



※通常位置からリュウズを押すと、内部照明が点灯します。

●リュウズを右回転すると→の順序で切り替わります。

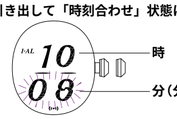


※リュウズを左回転すると、上記の→とは逆の方向に切り替わります。
※時刻表示以外の「カレンダー表示」「ワンタイムアラーム表示」「デイリーアラーム表示」において、２～３秒間操作をしないと自動的に「時刻表示」に戻ります。
※上図はワンタイムアラームを「AM１０：３０」に、またデイリーアラームを「PM７：００」にセットしてある場合です。
●リュウズを押すと内部照明（ＥＬ）が点灯します。約３秒間の残照式です。

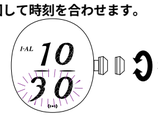
■時刻の合わせかた

１リュウズを回して「時刻表示」にしてください。

２リュウズを引き出して「時刻合わせ」状態にしてください。



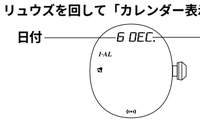
３リュウズを回して時刻を合わせます。



マーク無し（午前）または「PM」（午後）マークで午前・午後が表示されます。
※リュウズを早く回すと多く進み（または戻り）ますが、一定以上の早さで回しても反応しませんのでご注意ください。
４時報と同時にリュウズを押し込み、時刻表示に戻してください。
※リュウズを押し込んで時刻表示に戻したことで、強制的に秒が００秒でスタートします。詳しくは「●秒合わせ」をご参照ください。
※「時刻合わせ」状態にすると、時報の「鳴る／鳴らない」の設定が変わりますので、「■時報の設定方法について」を参照に合わせ直してください。
●秒合わせ…… この時計は「秒」表示がありませんので、秒まで正確に合わせるには次の方法で操作してください。
１「分」を点滅させ、次の分の数字に合わせます。
例）現在時刻が「１０時０８分４２秒」の場合、「１０：０９」に合わせる。
また、１０時の時報で合わせたい場合は、１分前に「１０：００」に合わせる。
２合わせた分になったら、リュウズを押し込んで時刻表示に戻してください。
※リュウズを押し込むと合わせた分の「０秒」でスタートします。

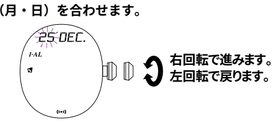
■カレンダーの合わせかた

１リュウズを回して「カレンダー表示」にしてください。



２リュウズを引き出して「カレンダー合わせ」状態にしてください。

３リュウズを回してカレンダー（月・日）を合わせます。



※毎年「２月２８日（２８ FEB）」の次は「３月１日（１MAR）」の表示になりますので、うるう年の場合は、カレンダー合わせで「２月２９日（２９ FEB）」を設定してください。
※リュウズを早く回すと多く進み（または戻り）ますが、一定以上の早さで回しても反応しませんのでご注意ください。
４合わせ終わったら、リュウズを押し込んで「カレンダー表示」に戻してください。
●全点灯表示について
「カレンダー合わせ」状態にした後、「全点灯表示」になるのは、故障ではありません。カレンダー修正を行なわないまま、リュウズが押し込まれると「全点灯表示」になります。その場合は、リュウズを右または左に回して「カレンダー表示」に戻してください。
カレンダー合わせが必要の場合、次にあらためて上記の「操作１」から行ってください。

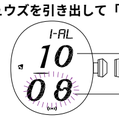
※全点灯表示のまま、リュウズを引き出すと「コントラスト調整」状態になります。その場合はリュウズを押し込んで「カレンダー表示」に戻してください。
（詳しくは→「■コントラストの調整について」を参照ください）

■ワンタイムアラームの使いかた

・ 現在時刻からアラーム時刻を合わせますので、現在時刻に近い時刻に合わせる場合に便利です。
・ ワンタイムアラームは１回アラームが鳴るとキャンセルされます。
※毎日決まった時刻にアラームを鳴らせる場合はデイリーアラームが便利です。
●ワンタイムアラーム時刻の合わせかた
１リュウズを回して「ワンタイムアラーム表示」にしてください。

ワンタイムアラームがセットされていない場合、現在時刻と同じ時・分が表示されます。

２リュウズを引き出して「ワンタイムアラーム時刻合わせ」状態にしてください。



３リュウズを回してワンタイムアラーム時刻を設定してください。

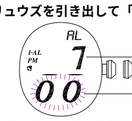
ワンタイムアラーム時刻を設定すると、ワンタイムアラームマーク「I-AL」が点灯し、ワンタイムアラームがセットされていることを表示します。
※午前・午後をよく確認してください。午後の場合にのみ「PM」マークが点灯します。
※ワンタイムアラーム時刻が現在時刻と一致した場合にはワンタイムアラームマーク「I-AL」は消灯し、ワンタイムアラームは未設定の状態となります。
※リュウズを早く回すと多く進み（または戻り）ますが、一定以上の早さで回しても反応しませんのでご注意ください。
４合わせ終わったら、リュウズを押し込んで「ワンタイムアラーム表示」に戻してください。
※ワンタイムアラームがセットされていると他の表示でも、「I-AL」マークが点灯します。
●鳴っているワンタイムアラームを止めるには
ワンタイムアラーム設定時刻になると２０秒間アラーム音が鳴り続きます。アラーム音はデイリーアラーム音とは異なります。鳴っているアラーム音を途中で止める場合は、リュウズを押すか、右または左へ回してください。
※どの表示の時でも、この操作は可能です。
※ワンタイムアラームは１回鳴ると自動的に設定がキャンセルされます。「I-AL」マークは消灯します。
●ワンタイムアラーム時刻の確認および、修正またはキャンセルする方法
＜ワンタイムアラーム時刻の確認＞
・リュウズを回して「ワンタイムアラーム表示」にしてください。セットしてあるワンタイムアラーム時刻が表示されます。
＜ワンタイムアラーム時刻を修正＞
・「ワンタイムアラーム表示」においてリュウズを引き出し、回転すると、ワンタイムアラーム時刻の修正ができます。修正が終わったらリュウズを押し込みます。
＜ワンタイムアラームキャンセル（解除）方法＞
・「ワンタイムアラーム表示」においてリュウズを引き出し、回転してワンタイムアラーム時刻を現在時刻の時・分と一致させてください。
また、「ワンタイムアラーム表示」でリュウズを引き出しそのままリュウズを押し込むと、ワンタイムアラームはキャンセルされます。
※ワンタイムアラームがキャンセルされると、「I-AL」マークは消灯します。

■デイリーアラームの使いかた

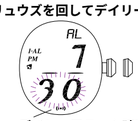
・ １日（２４時間）に１回鳴るデイリーアラーム機能です。
●デイリーアラーム時刻の合わせかた
１リュウズを回して「デイリーアラーム表示」にしてください

以前セットしたデイリーアラーム時刻が表示されます。
デイリーアラームマーク

２リュウズを引き出して「デイリーアラーム時刻合わせ」状態にしてください。

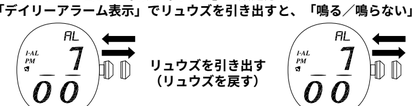


※デイリーアラーム時刻合わせにすると、デイリーアラームの「鳴る／鳴らない」の設定が替わります。（→「●デイリーアラームの「鳴る／鳴らない」の設定方法」）
３リュウズを回してデイリーアラーム時刻を設定してください。



デイリーアラーム時刻を修正すると、デイリーアラームマーク「((•))」が点灯し、デイリーアラームがセットされていることを表示します。
※午前・午後をよく確認してください。午後の場合にのみ「PM」マークが点灯します。
※リュウズを早く回すと多く進み（または戻り）ますが、一定以上の早さで回しても反応しませんのでご注意ください。
４合わせ終わったら、リュウズを押し込んで「デイリーアラーム表示」に戻してください。
※デイリーアラームがセットされていると他の表示でも、「((•))」マークが点灯します。

●デイリーアラームの「鳴る／鳴らない」の設定方法
「デイリーアラーム表示」でリュウズを引き出すと、「鳴る／鳴らない」の設定が替わります。

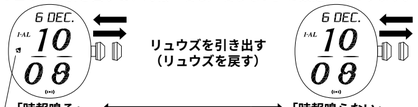


デイリーアラームマーク点灯
「デイリーアラーム鳴る」←→「デイリーアラーム鳴らない」

※デイリーアラーム時刻を修正せずにそのままリュウズを押し込んでください。修正があった場合、強制的にデイリーアラームマークが点灯し、鳴る設定になります。
●鳴っているデイリーアラームを止めるには
アラーム設定時刻になると２０秒間アラーム音が鳴り続けます。アラーム音はワンタイムアラーム音とは異なります。鳴っているアラーム音を途中で止める場合は、リュウズを押すか、右または左へ回してください。どの表示の時でも、この操作は可能です。

■時報の設定方法について

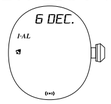
１リュウズを回して、時刻表示にしてください。
２リュウズを引き出すと、時報「鳴る／鳴らない」の設定が変わります。



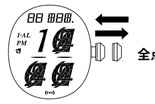
「時報鳴る」←→「時報鳴らない」
時報マーク点灯
３設定したい状態にしてからリュウズを押し込んで時刻表示に戻してください。

■コントラスト調整について

・ 液晶パネルの「コントラスト」を「０（薄い）～６（濃い）」の数値の中から選ぶことができます。
１リュウズを回して「カレンダー表示」にしてください。

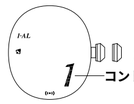


２リュウズを引き出し、そのまま押し込んでください。



全点灯表示になります。

３全点灯表示のまま、リュウズを引き出してください。



４リュウズを回してコントラストを調整してください。

コントラスト値は「０（薄い）～６（濃い）」から選んでください。
５設定したい状態にしてからリュウズを押し込んでカレンダー表示に戻してください。
※電池交換後はコントラスト値が「１」になりますので、必要に応じ合わせ直してください。

■電池について

（１）電池寿命
この時計は新しい正常な電池を組み込んだ場合、その後約２年間作動します。ただし、アラーム音を１日５秒、内部照明の点灯を１日１回、を基準としていますので、それ以上使用した場合は上記の期間に満たないうちに電池寿命が切れる場合があります。
（２）最初の電池
お買い上げの時計にあらかじめ組み込まれている電池は、機能・性能をみるためのモニター用です。お買い上げ後上記の期間に満たないうちに電池寿命が切れたとしましてもご了承ください。
（３）電池交換
１電池交換は、必ずお買い上げ店で「セイコー純正 SB電池」とご指名の上、ご用命ください。
２電池寿命切れの電池をそのまま長時間放置しますと、漏液などで故障の原因になりますので、お早めに交換してください。
３電池交換は、保証期間内でも有料となります。
４電池交換等で裏ぶたを開閉しますと当初の防水性能を維持できなくなる場合があります。
電池交換の際には、お客様の時計の防水性能に合った防水検査をご依頼ください。特に 10気圧以上のものは検査が必要です。

⚠ 警告
1. お客様は、時計から電池を取り出さないでください。
2. やむを得ずお客様が時計から電池を取り出した場合は、電池はただちに幼児の手が届かないところに保管してください。
3. 万一飲み込んだ場合は、体に害があるため直ちに医師とご相談ください。

⚠ 注意
1. 破裂、発熱、発火などのおそれがありますので、電池を絶対にショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。
2. この時計に使用している電池は、充電式ではないので、充電すると液漏れ、破損のおそれがあります。絶対に充電しないでください。
3. 「常温（５℃～３５℃）からはずれた温度」下で長時間放置すると電池寿命が短くなることがあります。

■エレクトロルミネッセンス（内部照明）について

内部照明として使用されているエレクトロルミネッセンス（EL）パネルは、電池の電圧が低くなると、輝度（明るさ）が低下します。また、ELパネルは発光時間の経過と共に、徐々に輝度が減衰する特性を持っています。
※ ELパネルの輝度は、点灯時間の累積で約 120時間経過すると半減します。ご使用中に内部照明が暗くなったときは、まず、電池を新しいものに交換してください。電池を交換しても暗すぎる場合は、ELパネルの交換となります。お買い上げ店に交換をお申しつけください。有料にて申し受けします。

■使用上の注意とお手入れの方法

⚠ 注意

●日常のお手入れ

・ ケース・バンドは肌着類と同様に直接肌に接しています。汚れたままにしておくとサビて衣類の袖口を汚したり、かぶれの原因になることがありますので常に清潔にしてご使用ください。
・ 時計をはずしたときには、柔らかい布などで汗や水分を拭き取ってください。汚れも取れ、ケース、バンド、およびパッキンの寿命がちがってきます。

金属バンド
・金属バンドは時々柔らかい歯ブラシなどを使い、石けん水で部分洗いなどのお手入れをお願いします。その際に、非防水の時計の場合には時計本体に水がかからないようにご注意ください。

皮革バンド
・革バンドは水分を吸い取るように軽く拭いてください。こするように拭くと色が落ちたり、ツヤがなくなったりする場合があります。

軟質プラスチックバンド
・ウレタンバンドなど軟質プラスチックでできているバンドは、蛍光灯や太陽光の下に長時間放置されたり、汚れが染み込んだりすることによって、色あせ・変色、あるいは硬くなったり切れたりする場合があります。特に半透明のウレタンバンドは、変色などが目立ちやすく、条件によっては数ヵ月のご使用で起こり始める場合があります。湿気の多い場所に保管したり、汗や水で濡れたまま放置しておくと、早く変色することがありますので、汚れたときは、石けん水で洗ってください。ただし、化学製品ですので溶剤によっては変質する場合があります。

●非防水時計は、水（水道の水はね、雨、雪など）や多量の汗にご注意ください。万一、水や汗でぬれた場合には吸湿性のよい布などで水分を拭きとってください。
●日常生活用強化防水時計は海水中などでの使用のあと、化学薬品類を使用せず、ためた真水で洗ってください。
●回転ベゼルつきの時計の場合、ベゼル下に汚れなどがたまり、回転が重くなったりしますので清潔にしてご使用ください。

⚠ 注意

●かぶれやアレルギーについて

・バンドは多少余裕を持たせ、通気性をよくしてご使用ください。
・かぶれやすい体質の人や体調によっては、皮膚にかゆみやかぶれをきたすことがあります。
・かぶれの原因として考えられますのは、
1.金属・皮革に対するアレルギー
2.時計本体及びバンドに発生した錆、汚れ、付着した汗などです。
・万一肌などに異常を生じた場合は、ただちに使用を中止し医師にご相談ください。

●保管について

・「 -5℃～ +50℃からはずれた温度」下では、機能が低下したり、停止する場合があります。
※この時計は常温（５℃～ 35℃の範囲内）で 腕に付けた時に安定した精度を得られるように調整してあります。よって温度によって多少の進み遅れが生ずることがありますが、常温にもどればもとの精度にもどります。
・磁気や静電気の影響があるところに放置しないでください。
・極端にホコリの多いところに放置しないでください。
・強い振動のあるところに放置しないでください。
・薬品の蒸気が発散しているところや薬品にふれるところに放置しないでください。（薬品の例：ベンジン、シンナーなどの有機溶剤、及びそれらを含有するもの－ガソリン、マニキュア、化粧品などのスプレー液、クリーナー剤、トイレ用洗剤、接着剤など－水銀、ヨウ素系消毒液など）
・温泉や防虫剤の入ったひきだしなど特殊な環境に放置しないでください。

⚠ 注意

●防水性能

・時計の文字板または裏ぶたにある防水性能表示をご確認の上、使用可能範囲にそって正しくご使用ください。
・水分のついたままリュウズを回したり引き出したりしないでください。時計内部に水分が入ることがあります。

			洗顔や雨など一時的にかかる水滴。	水泳や水仕事など長時間水にふれる場合。	空気ボンベを使用しない潜水(スキンダイビング)や入浴。	空気ボンベやヘリウムガスなどを使用する本格的な潜水。	水滴がついた状態でのボタン操作。
非防水		ケースの裏にWATER RESISTANTの表示のない時計	×	×	×	×	×
日常生活用防水		ケースの裏にWATER RESISTANTの表示のある時計	○	×	×	×	×
日常生活用強化防水	5気圧防水	ケースの裏にWATER RESISTANT 5・10・15・20BARか、WATER RESISTと 🌊 マークの表示のある時計	○	○	×	×	○
	10・15・20気圧防水		○	○	○	×	○

●入浴について

・ 10気圧以上の防水の場合、時計をつけたまま入浴してもかまいませんが下記のことに注意して下さい。
・時計に、石けんやシャンプーがついた状態で、リュウズ操作やボタン操作を行わないでください。（防水機能が維持できなくなることがあります）
・温水で時計が温まりますと、多少の進み、遅れを生ずることがあります。ただし、常温にもどれば精度はもとにもどります。

⚠ 警告
・日常生活用防水（３気圧）の時計は水の中に入れてしまうような環境での使用はできません。
・日常生活用強化防水（５気圧）の時計は、スキンダイビングを含めて全ての潜水に使用できません。
・日常生活用強化防水（10・20気圧）の時計は、飽和潜水／空気潜水には使用できません。

⚠ 注意
提げ時計やペンダント時計の場合、ひもやチェーンによって衣類や手・首などを傷つける事がありますのでご注意ください。

●その他、携帯上ご注意いただきたいこと

・バンドの着脱の際に中留などで爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。
・転倒時や他人との接触などにおいて、時計の装着が原因で思わぬケガを負う場合がありますのでご注意ください。
・特に乳幼児を抱いたりする場合は、時計に触れることでケガを負ったり、アレルギーによるかぶれをおこしたりする場合もありますので十分ご注意ください。

●定期点検について

・ながくご愛用いただくために、２～３年に一度程度の点検調整をおすすめします。定期的な点検により目に見えない部分が原因となる損傷を未然に防ぎ、より安心してご使用いただけます。保油状態・漏液の有無・汗や水分の侵入などの点検をお買い上げ店でご依頼ください。点検の結果によっては分解掃除を必要とする場合があります。

・部品（電池）交換の時は、「純正部品（電池）」とご指定ください。電池が切れたまま長時間放置しますと漏液などで故障の原因となりますので早めに交換をご依頼ください。
・定期点検や電池交換の際にはパッキンやバネ棒の交換もあわせてご依頼ください。

■液晶パネルについて

この時計の〈液晶パネル〉は、５年を過ぎますとコントラストが低下したり数字が読みにくくなります。お買い上げ店に交換をお申しつけください。有料にて申し受けます。

■修理について

１ 保証内容は保証書に記載したとおりですので、よくお読みいただき大切に保管してください。
２ この時計の補修用性能部品の保有期間は通常 7年間を基準としています。正常なご使用であれば、この期間中は原則として修理可能です。
（補修用性能部品とは、時計の機能を維持するのに不可欠な修理用部品です。）
３ 修理可能な期間はご使用条件によりいちじるしく異なり、精度が元通りにならない場合がありますので、修理ご依頼の際にお買い上げ店とよくご相談ください。
４ 修理のとき、ケース・文字板・針・ガラス・バンドなどは一部代替部品を使用させていただいたり、またはケースごとの一式交換や代替品に替わることがありますので、ご了承ください。
５ 修理の内容によっては、修理代が標準小売価格を上まわる場合があります。その他、わからない点がありましたら「セイコーウオッチ株式会社お客様相談室・お客様相談係」へお問い合わせください。

■VVDGIについて

VVDGI（ビビデジ）は色表現やライト点灯時の光り方で様々な表現を実現した新しい液晶パネルです。
主な特徴として
1光の透過率、反射率が高く液晶パネルが鮮やかにはっきりと見えます。
2デジット（文字・数字）や液晶の背景全体にカラーや様々な仕上げを施すことができます。
3画面全体の発光やセグメント（表示内容）のみの発光ができます。
※上記の特徴は機種によって異なります。